

これまでの元気とこれからの元気

塾長 渡邊 隆

平成22年（2010年）7月に上越はつらつ元気塾は、「上越の元気の源はどこにあるのか！」をメインテーマにNPO法人として、元気にスタートしました。今年で9年目を迎えます。これまでの活動を振り返ってみますと、「上越の元気の源」を掘り起こし地域に生かすことを目的に平成22年度以降、毎年テーマを決めて、上越の宝を掘り起こし、元気を探る活動をしてきました。これまでを振り返ると

平成22年度「先輩に学ぶ～上越の文化を伝える～を考える」に始まり、

平成23年度「坂口謹一郎先生が上越にもたらしたもの」

平成24年度「ものづくりから生まれる上越の力」

平成25年度「鉄道が生み出した上越の元気」

平成26年度「電力から考える上越の元気」

平成27年度「前島密を生んだ上越の秘密」

平成28年度「上越の食の元気を探る」

平成29年度「雁木が生んだ上越のくらし」 でした。

“上越の元気“を「文化」-「坂口謹一郎先生」-「ものづくり」-「鉄道」-「電力」-「前島密」-「食」-「雁木」などの keywords で、探してまいりました。そして、多くのものを学びました。

「文化」から戦後の上越には、戦後の疎開文化とも言える、多くの文化人が集まっていて、そこで語られる日常の会話が、人の豊かな心のつながりと文化の物語でした。

これらを通して、上越市の生活環境の豊かさ；インフラの強さ、豊かさ、十分さ、温かい人の心を感じ取りました。上越のこの地の生活の中に入っている心の遊び；それが文化なのでしょうか。

ところで、これからもこんな豊かな上越のこの地で楽しく暮らしていきたいと思いませんか。しかしながら、これからやってくる時代はどんな時代なのでしょう。人口減少に伴う過酷な時代だと予想されています。未来のカレンダーは、これから10年も経たないうちに国民の3分の1は高齢者です。増えるのは80歳以上です。しかも一人暮らしが多くなっていきます。これらの出来事は、政府や自治体がやることだと思いかもしれません。個人や民間がやれることはたかが知れているかも知れません。しかし、小さな一人の取り組みを国民のみんなが積み重ねていくことが、未来カレンダーを書き換えていくことにつながるのです。そこで、今年度から「上越はつらつ元気塾」は、「上越の未来カレンダー」と銘打って市民の皆さんと学ぶ場を企画します。

少子高齢化と人口減少の克服に魔法は効きません。しかし、できることはまだまだ、たくさんあります。備えておいた方が良くもあります。未来を予想して、みんなの知恵を絞ってみませんか！！

皆さんの変わらぬご支援に感謝申し上げます。今年度もよろしくお願い申し上げます。

「上越の未来カレンダー：これまでの元気とこれからの元気」をテーマに、塾長講義を行いました。

○参加者数／36名

上越はつらつ元気塾

「塾長講義」のご案内

参加無料

「上越の元気の源」を掘り起こし地域に生かす上越はつらつ元気塾では、平成22年以降、毎年テーマを決めて、上越の宝を掘り起こし、元気を探る活動をしてきました。今年からは、今後の上越の未来カレンダーを市民の皆さんと考える塾を企画しています。今回は、塾のこれまでを振り返り今後を考える塾長講義を開催します。ご家族ご友人をお誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。

- とき **6月19日(火) 午後5時40分～6時30分**
- ところ 上越市西城町 学校教育実践研究センター(上越教育大学)
- テーマ
上越の未来カレンダー
「これまでの元気とこれからの元気」
NPO法人上越はつらつ元気塾 塾長
渡邊 隆
学校法人国民学園理事長
上越教育大学 特別顧問



上越市西城町 1-7-2 附属小学校構 TEL:025-525-9147

参加申込み 当日参加も可能ですが、できるだけ事前にFAXかメールにてお申込みください。終了後、座談会に参画し懇話会を行います。参加ご希望の方は、6月15日(金)までにお申込みください。会員の方は、都合(17:00)からご参加ください。ご案内いたします。

主催 / 特定非営利活動法人 上越はつらつ元気塾
〒943-0823 上越市電士町 1-6-3
TEL:025-521-2627 FAX:025-520-4151 E-mail:genki@echigo-joetsu.com <http://echigo-joetsu.com/genki>

地域の将来考えよう 上越

NPO法人「上越はつらつ元気塾」は市内で講演会を開いた。上越教育大特別顧問で、元気塾塾長の渡辺隆さん(77)が市民ら約40人を前に塾の活動を振り返り、今後の活動方針を語ったII写真II。

塾は2006年に同大などでつくる実行委員会形式で発足。毎年、「文化」「食」といったテーマを決めて講座を開いてきた。

渡辺さんは19日の講演で、「酒博士」として知られる坂口謹一郎や「日本郵便の父」と呼ばれる前島密などもテーマにしたことを紹介し、「先人が構築してきた生活環境の豊かさを学んできた。これまで得た知識を今後の上越の発展につなげていきたい」と語った。

南本町1の自営業松井直美さん



(54)は「自分が住む地域でも知らない文化や歴史は多い。上越の未来を考えるため、改めて勉強したい」と話した。

塾はことから、科学技術の進歩や人口減少などをテーマに上越の将来を考察する。

(新潟日報 平成30年6月30日掲載)

◆第1回セミナー

上越の未来カレンダー を考える “人口減が上越を元気にする?!”

第1回セミナー「上越のいま」

と き 2018年10月11日(木) 18:00～20:00
と ころ 上越教育大学 学校教育実践研究センター

PROGRAM

18:00	<p>開会挨拶 NPO法人上越はつらつ元気塾 塾長</p>	渡邊 隆
18:05	<p>話題提供</p> <p>★上越市における人口等の動向について 上越市創造行政研究所 上席研究員・博士 (地域政策学)</p> <p>★新潟県の人口動態と人口減少問題への取り組み 新潟県新潟暮らし推進課人口問題対策班 政策企画員</p>	<p>内海 巖さん 川村 和芳さん</p>
19:05	<p>ディスカッション</p> <p>話題提供を受けて、会場の皆さんとディスカッションを行います。</p> <p>パネラー／上越市創造行政研究所 上席研究員・博士 新潟県新潟暮らし推進課人口問題対策班 政策企画員 上越はつらつ元気塾 理事 進行／上越はつらつ元気塾 塾長</p>	<p>内海 巖さん 川村 和芳さん 小林 毅夫 渡邊 隆</p>
20:00	閉 会	



NPO法人「上越はつらつ元気塾」は、人口減が進む市の今後について考えるセミナーを西城町1の上越教育大学学校教育実践研究センターで開いた。写真。会員ら約70人が出席し、市内の人口の現状について学んだ。

上 越 市の人口減 現状学ぶ

同塾は毎年テーマを決め、1年間かけて学んでおり、ことは人口減を取り上げている。

11日のセミナーでは、市のシンクタンク「上越市創造行政研究所」の内海巖さんが市内の人口の推移を解説。高田など中心市街地や中山間地域では減少傾向にある一方で、新興住宅地を抱えるエリアでは増加傾向にあると報告した。

続くディスカッションでは塾長で、上教大特別顧問の渡辺隆さん(77)が、大手予備校が学校数を減らしたり、高校野球の合同チームが増えたりしている現状を挙げ、「現実を自分のことと捉え、答えを出していこう」と訴えた。

(新潟日報 平成30年10月24日掲載)

○参加者数／70名



★第1回セミナー 参加者感想（アンケートから抜粋）

- ・考えたことのない人口減少についてのテーマ。行政にまかせていた事を自分たちで考えていく！興味深くお話をお聞きしました。なぜその地に住んでいけるのかなど提言が少しずつ集まることを期待しています。（上越市 50代女）
- ・人口データの現状とこれからの動向がよく分かりました。このことを受け止め、どうしたら上越が元気になるか、私たちが前向きに生きていくことができるかを考えていくことが必要なことだと強く思いました。（上越市 50代男）
- ・人口減をどうプラスに考えられるかを考えさせられた。（上越市 70代男）
- ・上越市、新潟県の人口減少の現状がよくわかりました。（60代男）
- ・全体の人口減という明確な傾向がある中で人口減に対する施策は県とか市の枠で考えるのが最適かというのもあり得ると思います。とは言え、地域ファーストになるのは当然であり地域の元気を取り戻すという視点は重要だと思います。（上越市 50代男）
- ・時代の最大のテーマを考える機会であり、興味深く聞くことが出来ました。分科会的な論議が必要なのではないのでしょうか。地域に大きな風をおこして下さい。課題が沢山あると思います。（上越市 70代男）
- ・テーマの人口は大きな問題・現実問題行政と住民が取組んでいかなければいけない。（上越市 50代男）
- ・客観的なデータを示して頂いて良かったです。皆様のお話を聞いてみて（プラス数字を見て）「若い女性」が移り住んで輝くまちづくりが必要だと感じました。女性の政治（行政）参加を増やすことも必要と考えます。（上越市 50代男）
- ・次世代のために自分が何ができるのか考える時間となりました。ありがとうございました。（50代女）
- ・人口問題を考えることはこれからの地域社会をどうデザインするかという課題と直結しており、全ての市民（子供から老人まで）が逃げずに考えていかななくてはならないテーマだと考えました。そう考える一つのきっかけをいただき、ありがとうございました。学校教育に生かしていきたいとおもいます。（上越市 60代男）
- ・人口減少問題については毎日のようにメディアで取り上げられているが、ほとんどの人がその現状に直視せず向き合っていない。（自分も含めて）今回のセミナーで現状についてデータを元に把握することができ、次の自発的な動きに一步踏み出す心づもりができた。（上越市 20代男）

「講演会」テーマ／「人口減が地方を強くする」

上越はつらつ元気塾 講演会

「人口減が地方を強くする」

いま、人口減少問題を自分のものとしてとらえ、リアルに感じることが必要です。

「上越の元気の源」を掘り起こし地域に生かす上越はつらつ元気塾では平成22年以降、毎年テーマを決めて上越の宝を掘り起こし、元気を探る活動をしてきました。今年度からは、今後の上越の「未来カレンダー」を市民の皆さんと考える塾を企画しています。一緒に学びましょう。

3/4 2019 3pm.6:00~8:00

場所 > 上越教育大学
学校教育実践研究センター
(上越市西城町1-7-2 附属小学校横)

定員 > 100名

申し込み・お問い合わせ ※準備の関係で、できるだけ事前にお申込ください。当日参加も可能です。

主催 特定非営利活動法人 上越はつらつ元気塾

事務局 上越市高土町1-8-3 TEL 025-521-2627 FAX 025-520-4151 MAIL genki@echigo-joetsu.com

ふじなみ たくみ
講師 藤波 匠氏
(株)日本総合研究所
調査部 席主任研究員



Profile

1992年東京農工大学大学院修了、(株)東芝に入社。その後、さくら総合研究所を経て2001年より日本総合研究所調査部。途中、山梨総合研究所への出向を経て、2015年より現職。専門は、地方政策、環境・エネルギー政策。

近著に『北の国から』で読む日本社会、『人口減が地方を強くする』などがある。(共に日本経済新聞出版社)

入場無料

上越はつらつ元気塾 講演会


「人口減が地方を強くする」

と き 2019年3月4日(月) 午後6時~8時
と こ 上越教育大学 学校教育実践研究センター

PROGRAM

6:00 開会
主催者挨拶 NPO法人上越はつらつ元気塾 塾長 渡邊 隆

6:05 講演 「人口減が地方を強くする
～人口減を前提とした地域経営～」



(株)日本総合研究所
調査部 席主任研究員

ふじなみ たくみ
藤波 匠氏

Profile
1992年、東京農工大学大学院修了、(株)東芝に入社。その後、さくら総合研究所を経て2001年より日本総合研究所調査部。途中、山梨総合研究所への出向を経て、2015年より現職。専門は、地方政策、環境・エネルギー政策。
近著に、『北の国から』で読む日本社会、『人口減が地方を強くする』などがある(共に日本経済新聞出版社)。

7:10 質疑応答、ディスカッション
講演を受けて、会場の皆さんとディスカッションを行います。

8:00 閉会

○参加者数／62名



平成30年度

★講演会参加者感想（アンケートから抜粋）

- ・限界集落でも活路が見出せることがわかった。（上越市 50 代男）
- ・上越市の中でもさらに中山間地で暮らしています。少子高齢化が進んでいますが、元気を出して生きたい。（上越市 50 代男）
- ・特に若者の定着（流出の減少）、Uターンの仕組み作り。50 歳代の I ターンで活躍できる仕組みや環境作り。この地域に住む我々が考えるべき重要なテーマであると感じました。
（上越市 40 代男）
- ・“3つのネットワーク”が印象に残りました。せつかくある素晴らしい観光資源を活用して活気ある上越市にしていけたらと感じました。ありがとうございました。（上越市 50 代女）
- ・大変おもしろい講演でした。この上越についてどうするか？考えさせられました。
（上越市外 60 代男）
- ・東京圏の人口流入の状況や人の流れについて勉強することができました。若い人へ地方の魅力をしっかり伝える大切さを知ることができました。また、生活基盤をしっかり作ることが大切だと思います。（長野県飯綱町 30 代男）
- ・わかりやすくお話し下さりありがとうございました。プラットフォーム作り、コンパクトシティ、地域商社（のようなもの）などの積極的に議論され、取り組まれていく地域とそうでない地域で何が違うのかお感じになられていることがあれば、お聞きしたいと思いました。（上越市 40 代男）
- ・若い人を移住させるということばかりに目が向いてしまうが、50 代も必要というお話はなるほどと思った。現状をしっかりと分析しながら冷静に進めることも必要があると感じました。（上越市 40 代女）
- ・人口動態の因果関係が政策的要因による所が大きいというのは初めて聞く話だった。コンパクトシティなどに関して考えを深めることができてよかった。（上越市 10 代男性）

「食生活改善セミナー」

新潟日報主催の「福祉・介護・健康フェア」内で、食生活改善セミナーを開催し、日ごろの食生活を見直すきっかけづくりを行いました。

○と き／平成 30 年 11 月 23 日(祝) 午前 11 時 15 分～12 時 15 分

○ところ／高田公園オーレンプラザ

○入場者数／1,621 名 ※フェアの入場者数

○内 容／「新潟県民は高食塩摂取?!減塩で健康寿命を延ばそう」

講師：新潟県立大学教授 村山伸子さん

司会：お笑い集団NAMARA 江口歩さん



「ウォーキング&健康づくり体験」

心と体の健康を目指し、ウォーキング&健康づくり体験を実施しました。会場のオーレンプラザの別イベントに参加していた市民も、健康づくり体験に来ていただきました。

○と き／平成30年11月11日(日) 午前9時10分～午後1時

○ところ／高田公園オーレンプラザ

○参加者／130名

○内 容／<ウォーキング>

A 「高田城跡コース」 5km (県ウォーキングロード)

B 「関川堤防コース」 12km

<健康づくり体験>

・体組成測定・握力測定・ロコモテスト(立ち上がり測定)・健康相談

○協 力／国土交通省高田河川国道事務所、新潟県上越地域振興局、メディカル&ケア、NPO法人新潟県ウォーキング協会、上越歩く会

○協 賛／コカ・コーライーストジャパン(株)

